



ながしま

議会だより

9月定例会

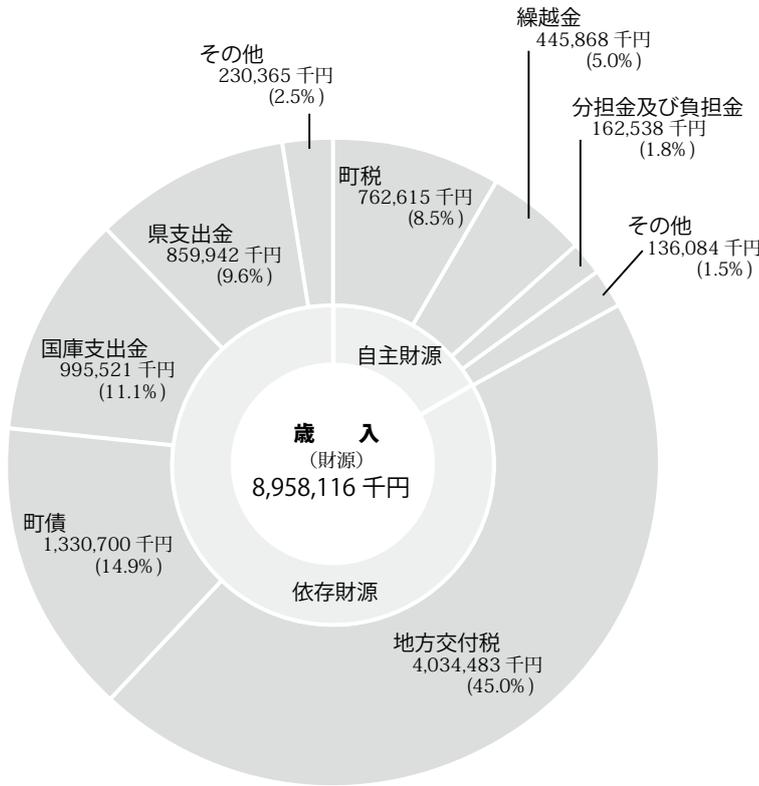
(H22. 9.10～9.21)

秋風に吹かれ
ひっそり やさしく咲く
山野草 ヨメナ

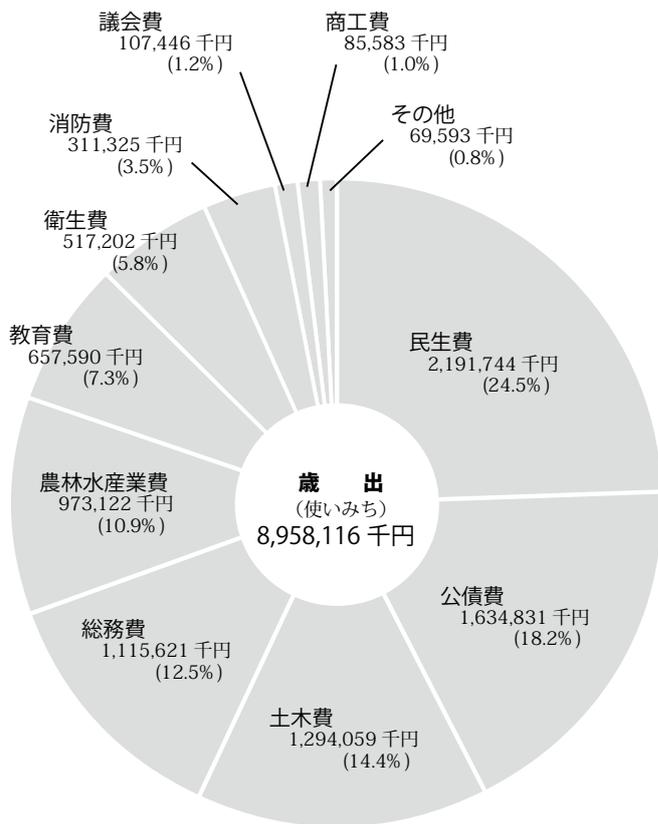
定例会でこんなことを可決しました	2～5
6議員が施策を問う	6～11
常任委員会の審査報告	12～13
行政研修・陳情報告	14
議会のうぶき	15

児童生徒を表彰する条例など可決

平成22年第3回議会定例会は、9月10日から21までの12日間の会期で開かれた。平成21年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率など3件が報告され、4億2370万5千円を追加し、総額89億5811万6千円とする平成22年度一般会計補正予算や長島の子表彰に関する条例など審査、議案7件を可決、陳情2件を採択した。このほか、臨時会の招集権を議長に付与することを求める意見書など発議3件を可決、固定資産評価員に石塚政廣氏を選任することに同意した。



一般会計予算のなかみ



一般会計予算に
4億2370万5千円追加

定例会でこんなことを可決しました

議案番号	件名	議決日	議決の結果
報告第3号	平成21年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	9月10日	報告
報告第4号	財団法人長島町観光公社の経営状況について	9月10日	報告
報告第5号	平成22年度長島町教育委員会外部評価委員会評価結果について	9月21日	報告
議案第74号	長島の子表彰に関する条例の制定について	9月21日	原案可決
議案第75号	平成22年度長島町一般会計補正予算	9月21日	原案可決
議案第76号	平成22年度長島町介護保険特別会計補正予算	9月21日	原案可決
議案第77号	平成22年度長島町簡易水道特別会計補正予算	9月21日	原案可決
議案第78号	平成22年度長島町農業集落排水特別会計補正予算	9月21日	原案可決
議案第79号	平成22年度長島町漁業集落環境整備特別会計補正予算	9月21日	原案可決
議案第80号	平成22年度長島町特定地域生活排水処理特別会計補正予算	9月21日	原案可決
陳情第5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択について	9月21日	採択
陳情第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書	9月21日	採択
発議第4号	臨時会の招集権を議長に付与することを求める意見書(案)について	9月21日	原案可決
同意第6号	固定資産評価員の選任について	9月21日	同意
発議第5号	30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に関する意見書(案)について	9月21日	原案可決
発議第6号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案)について	9月21日	原案可決

用語の解説

- 歳入
会計年度における地方自治体等の収入
- 歳出
会計年度における地方自治体等の支出
- 地方交付税
国に納めていただいた税金を一定の基準により国から交付される税
- 町税
町民税、固定資産税など町民の皆さんが納める税金
- 繰越金
前年度から本年度へ持ち越したお金
- 国庫・県支出金
各種事業に対する国・県から交付される補助金
- 町債
町が借り入れたお金
- 総務費
全般的な管理事務、企画調整事務、財政事務、選挙事務などの経費
- 民生費
社会福祉、身体障害者、老人福祉、児童福祉などの経費
- 衛生費
保健事業、感染症予防、廃棄物処理などの経費
- 農林水産業費
農・林・漁業振興対策の経費
- 土木費
道路、橋りょう、河川、港湾、公営住宅などの経費
- 消防費
消火、防災防除、災害時被害軽減などの経費
- 教育費
教育委員会、小・中学校、社会教育などの経費
- 公債費
事業を行うために借り入れたお金の償還金
- 健全化判断比率・資金不足比率
両比率には基準が設けられている。その基準を超えると要注意段階となり、財政再建に取り組まなくてはならない

今回の補正予算

会計名	補正額	補正後予算額	主な内容
一般会計	4億2,370万5千円	89億5,811万6千円	文化ホール改修のための基金造成等
特別会計	介護保険	1,536万円	介護給付費負担金等の確定に伴う返還金
	簡易水道	1,083万8千円	新設脇崎地区水道管布設工事等
	農業集落排水	28万5千円	不明水調査賃金等
	漁業集落環境整備	61万2千円	幣串地区の原水槽、調整槽洗浄委託
	特定地域生活排水処理	11万円	インターネット回線使用料等

報告

健全化判断比率と 資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めるところにより、平成21年度決算に基づく長島町における健全化判断比率と資金不足比率が報告された。

長島町観光公社の 実績と決算

町が出資している財団法人長島町観光公社の平成21年度事業の実績と決算が報告された。

教育委員会外部評 価委員会評価結果

平成21年度に実施した教育委員会等の事業を長島町教育委員会外部評価委員会が点検・評価を実施し、その結果が報告された。

条例

小学校卒業までに 1人1回表彰

児童生徒の優れた個性を発見し、これを表彰することによって、心身ともに健全な児童生徒を地域ぐるみで育むことを目的とした、長島の子表彰に関する条例を制定した。

〈表彰〉

- 奉仕賞・親切賞・スポーツ賞
- 学芸賞・読書賞・創造賞
- 勤労賞・友情賞・特別賞

原則として小学校卒業までに1人1回表彰する。中学校では、特に顕著な実績があった生徒を再度表彰することができる。

同意

固定資産評価員の 選任に同意

欠員となっていた固定資産評価員に、石塚政廣副町長を選任することに同意した。

同評価員は、町長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、かつ、町長が行う価格の決定を補助するために設置されている。



増改築が予定されている鷹巣給食センター

補正予算の主な事業

鷹巣給食センター増改築の設計

今回、可決した補正予算の主な事業を紹介

子ども手当の支給事業	55,595 千円
新型インフルエンザワクチンの接種補助	13,739 千円
赤潮発生時の防除対策、へい死魚の埋設処理等補助	78,929 千円
長崎鼻灯台公園トイレ給水施設工事	2,790 千円
長島港城川内地区の整備	10,500 千円
鷹巣給食センターの増改築のための設計等	5,513 千円

請願・陳情

◇ 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択について

鹿児島県教職員組合長島地区協議会
議長 下永雄一

◇ 地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書

長島町職員組合 執行委員長 本田 満

発議

◇ 臨時会の招集権を議長に付与することを求める意見書の決議について

提出者 長島町議会議員 小川武男
賛成者 長島町議会議員 磯永秀生
賛成者 長島町議会議員 児島薩男

一般質問

6 議員が施策を問う

下塩見 浩 議員



防災対策について

住宅用火災警報器の設置を急げ

質問 消防法が改正され、平成23年5月31日までに全ての住宅に、住宅用火災警報器を設置しなければならない。総務課、町民福祉課間の取り組みや、現在までの設置状況と今後の取り組みはどうなっているか。また消防団や集落との連携協力等、設置確認のうえからも、設置済みステッカーの作成はできないか。

防災無線や公民館長等を通じて呼びかけたい

答弁 町長 現在4336世帯の35%、1535世帯が設置済みである。周知を図るため、防災無線や公民館長等を通じて呼びかけを行いたい。更に阿久根地区消防組合でも、個別訪問をし指導していく計画である。

今後、高齢者の方々の対応を含め、総務課や町民福祉課、

企画財政課等連携が取れるように指導の徹底を図りたい。設置済みステッカーについては必要性を感じているので今年度中に実施できると思う。いずれにしても警報器の普及に努力したいと考えている。

自主防災組織の組織力強化は

質問 災害による被害は、初期対応に大きく左右される。自主防災組織は行政が主体となつて100%達成し、防災

計画に基づいて、町の災害対策本部と連携をとり、自主防災組織単位で、避難訓練や消火活動の訓練等を行うことで、組織力強化や、防災計画の目的も達成できるのではないかと思う。今後の取組みについての考えは。

答弁 町長 自主防災組織の強化は重要課題として認識している。現在の組織率は68%

7%であり、22公民館が未組織である。各種会合等で公民館長に結成をお願いをしている。今後は、訓練や役割等の講習会を開催したり、モデル地区の指定を行い、自主防災

組織の強化と充実を図り、安心安全な町づくりに取り組みたい。組織率については、今年度中に100%達成できるように更なる努力をしていく。また、地域毎の訓練については、各自治公民館と話し合いながら実施するようにしたい。

高串崎公園の今後の活用について

町の観光スポットとしての位置づけはできないか

質問 高串崎公園は、天草の島々が手に取るように身近に眺められる風光明媚な自然公園である。しかし、30年以上経過し、町の公園管理として老朽化した展望所、そして実習館やトイレ等、場所が場所だけに大きな事故を引き起こすような危険な箇所も点在している。今後、益々長島の観

光客が増え活性化されると思う。春には桜、夏にはキャンブ、秋にはツワブキ、冬には水仙や椿と手のかからない木々や草花を植栽され、町内外の人たちに、針尾公園や、長崎鼻灯台公園のように、町の観光スポットの一つとして位置づけできないかと思う。まず老朽化した施設の早急な整備と今後の活用についての考えは。

位置づけは難しいが今後検討したい

答弁 町長 現在、利用者が少なくなつたため、草払い等の最低限の維持管理にとどめている。公園としては素晴らしいと考えているが、今長島全体の中で観光地としての位置づけは難しいのではないかと、思うので少し時間を頂きたい。老朽化した施設の取り壊しや、安全対策は当然必要だと思つたので、人命または安全にかかわる事については何らかの対策を図りたい。更なる開発や早急な整備については、今後検討したい。

川上 勇 議員



長島高校跡地活用促進について

質問 本町の定住促進のため、廃校となった長島高校跡地に企業誘致を推進され4年目を迎えた。廃校となった校舎を改修して福祉施設等に活用した場合、国からの有利な財政支援策も多いと聞く。長島高校創設の先人達の苦労と熱意と努力が風化、また施設が老朽化しないうちに、町民から広く意見を求めるための跡地活用検討委員会を設置して、企業誘致や教育・医療・介護・福祉施設等活用促進を図る考えを伺う。

自衛隊の訓練施設としての活用を

答弁 町長 役場職員で跡地活用対策検討会を設置して企業訪問を実施している。また、昨年12月、県知事と県議会議長に跡地活用について要望書を提出した。現在、陸上自衛隊国分駐屯地の宿泊拠点施設として活用している。今後も、九州内の自衛隊の通年による訓練施設としての活用を働きかけたい。現時点で検討委員会を設置しても成果は期待できないと考えているが、新たな提案があれば対応したい。

教育や訓練施設としての活用を努力

答弁 教育長 教育に活用する計画はないか、県内、熊本県までの私立高校及び専門学校を訪問した。県内の高校に限らず、学校の跡地活用については大きな課題がある。期間限定の活用や訓練施設としての活用等、今後も教育施設としての活用を推進する努力を続けたい。

町道及び農道の拡幅改良について

萩之牟礼・茅屋線から県道長島・宮之浦港線の長島高校跡地までの町道整備を
質問 浜漣集落等周辺の集落と鷹巣方面への連絡道として重要であり、整備して欲しいという強い要望がある。この道路は、旧両町間の交流促進や融和を図るかけ橋として、今後交通量の増加が予想される。現在、平尾・浜漣線や萩

之牟礼・茅屋線、口之福浦線等道路整備が進んでいるが、これらと一体的な整備はできないか伺う。

重要な町道として年次的に進める

答弁 町長 産業振興上も生活圏の一体化を促進するためにも重要な路線として位置づけられている。現在、口之福浦地区から藤之元地区の方に改良整備を進めている。これが完了後年次的に整備を進めたい。

農道山寺二号線の整備を

質問 現在、幅4メートルの農道となっているが、急カーブが多数あり大型車両の通行に不便な状態である。急カーブの拡幅改良及び待機場所の設置等改良整備について伺う。

地域と協議して進める

答弁 町長 優先順位等を考慮して、地形的条件や用地の確保等を含め地域の方々と協議して進める。



長島高校跡地

林 義明 議員



水産業振興について

質問 ①今年の赤潮の被害は昨年を上回る規模で今年の出荷予定魚の5割が被害を受けている。そこで赤潮を発生させる海水汚染の原因及び対策はどうすればよいか。

②赤潮の発生原因を一つずつ除去することが海水汚染を防止、赤潮の発生を抑制できるものと思う。これには地域でできるもの、国県で対応できるものに分類でき、地域でできるものに昭和40年代から東町漁協で、合成洗剤を環境に優しい石鹼使用運動に取り組んでいる。有明海、八代海

で被害が一番大きな長島町から、地域全体のものとし、町で協議会を設置し運動を展開したらと思うが、考えを伺う。

答弁 町長 ①海水汚染の原因は生活排水や工場、農業排水、養殖漁業の残さなどさまざまな物がある。有明海や八代海の汚染を防止するため、平成14年に有明海及び八代海を再生するための特別措置に関する法律が制定され関係各

県や住民がさまざまな取り組みを実施している。町も県や国に環境浄化に関する取り組みを昨年度からさらに強く実施していただくよう働きかけている。

②協議会の設置ですが町では、長島町水産振興推進協議会の中で赤潮対策について検討、家庭内の雑排水問題等については、東町漁協婦人部で実践、県では鹿児島県、熊本県と共同で赤潮防除に関する対策を検討中、国では全国市

町村水産振興協議会も設置されているので、これ以上の協議会は設置する必要はないのでは。しかし議会終了後早急に各関係者に出席をお願いし赤潮対策について水産振興協議会を開催する。

地域振興について

質問 集落の活動を応援、支援するため町職員を集落に張り付ける地域担当制度を具体化すると示されたが、この制度の進捗状況と担当職員の役割について。

答弁 町長 進捗状況は8月1日に要綱を制定し、当制度と事業内容について説明して

いるところ。役割については、地域の活性化に繋がる情報提供や説明を行う。地域住民の行政に対する意向等の把握、地域の自立や活性化のための助言など、今後とも職員が職場だけではなく集落でも住民の役に立ち、地域と行政が協働でつくり上げるまちづくりを推進する。

急傾斜地整備について

質問 この急傾斜地は、火ノ浦集落共有地で急傾斜地の上は石材工場、事務所、住宅が建設されているところで、大雨ごとに浸食、現在工場及び事務所の犬走り近くまで浸食している状況であるので早急に整備することが必要である。このことについて町長の考えは。

答弁 町長 急傾斜地整備については、急傾斜崩壊危険区域の指定を受けて国県の補助事業があるが、火ノ浦の急傾斜地は、いずれの事業にも難しい。これらの基準に該当しない急傾斜地の対策として準

公用地が災害を生じた場合、国県などの補助制度がなく集落での復旧には負担が大きすぎることを予想され、町では何らかの対応が必要と考え準公用地における災害復旧の取り扱い要綱の整備を検討している。12月議会までには何らかの対策ができるように努力する。



火ノ浦の急傾斜地

植元 敏光 議員



赤潮被害支援について

質問 今年八代海で発生した赤潮は6月下旬から8月上旬まで約1ヶ月間の長期間に及びブリ・カンパチ173万3千匹、被害総額は36億8千万円と、昨年を上回る過去最大の被害をもたらし、今や長島の養殖漁業の経営は危機的な状況に直面している。毎年のように発生する赤潮被害は、養殖業界の自助努力による範囲を既に超え、長島町・県のみで対応を講じていくことは極めて困難であることから国の積極的な対応が望まれる。長島町議会としても国へ陳情

- 8項目について要望した。その内容は次のとおり。
- ① 甚大なる被害を及ぼす赤潮被害の激甚災害指定に準ずる支援
 - ② 赤潮被害による漁業損失の直接補てんについて
 - ③ 漁業災害補償制度（養殖共済）の見直しについて
 - ④ 赤潮被害養殖漁業者の早期経営再建への支援措置について
 - ⑤ 漁業緊急保証対策事業の弾力的対応と制度の延長について
 - ⑥ 赤潮の被害を回避するため

の養殖漁場の整備等について

⑦ 赤潮被害対策の技術の確立について

⑧ 特別交付税の重点配分について

以上、要望した8項目の今後の見通しについて伺う。

国への要望についてご答えを感

答弁 町長 今回の赤潮被害の激甚災害に準ずる指定や漁業損失直接補填養殖共済の見直し等については民主党、自



赤潮被害によりへい死したブリ

由民主党の両党からも政府に要望していく。今までの感触では激甚災害の適用は困難、このほかの赤潮被害による特別措置法の制度に向けて努力している。養殖業者の早期再建に向けての要望に対してご答えを感じているが漁業共済制度による損失直接補填が法制化され、予算化するまで注意深く見守っていく必要がある。

長島の老人福祉社会の充実について

質問

安心して暮らせる介護施設の充実に向けた計画は、少子高齢化の急速な進展の中で高齢者が住み慣れた地域や家庭において安心して暮らせる環境を地域社会全体で支援する体制の構築が急務である。

本町高齢化率は31.5%と、かなり高い水準にある。これに団塊の世代が加わる2015年度には、さらに高齢化が進むことになる。本町も歳入不足と歳出増大の状況にあって福祉社会に向けた意図する

成果をあげることが難しい状況にあると思われるが、長島町の要介護認定の中で40名以上の方々が介護施設の入所待ちで自宅介護で待機している状況である。家庭の負担を考えると、何となく早く解決したい。

老後は安心と思える町づくりの実現に向けての考えを伺う。

充実した福祉の町づくりを目指す

答弁 町長

8月末現在の介護認定者は528人。うち在宅介護サービスや地域密着型サービス受給者は350人、施設介護サービスの受給者は116人、62人の方がサービスを受けられないことになっている。

民間活力で現在計画申し出のある施設整備計画を町有地の提供など支援を行ない1日も早い待機者の解消に向けて努力する。場所は現在のところ、川床診療所周辺を考えている。

田中 正隆 議員



町有施設整備の見直しと有効活用について

総合的に検討をはじめている

答弁 町長 町有施設の見直し、有効活用については、施設整備の時点と現況を十分に勘案しながら、時代に即した見直しを図り、有効活用を図る必要があると思っています。町としては総務省の地域力創造アドバイザー事業を採択してもらっているので、アドバイザーの意見を拝聴しながら、総合的な見直し、検討をはじめている。

石積と花壇については、ボランティアで管理する部分と町で管理する部分がある。

質問 現有町有施設の設備の見直しと、有効活用について伺いたい。

- ① 太陽の里周辺
- ② 鷹巣城
- ③ 長島町水産種苗センター
- ④ 日本マンダリンセンターおよび農園
- ⑤ 川床ふれあいの郷
- ⑥ 石積と花壇
- ⑦ 高串崎公園
- ⑧ 黒之瀬戸のヒラメ養殖場



川床ふれあいの郷

傍聴においでください

次回定例会は **12月上旬** 開会予定です

長島町議会の本会議は公開されていて、どなたでも傍聴することができます。

次回定例会は、12月上旬の開会を予定しています。

傍聴をお待ちしています。



古田 一博 議員



道の駅の今後のあり方について

質問 2月13日、だんだん市場がオープンした。だんだん市場の売上げも、順調に伸びているが、その反面、道の駅長島は企業努力にもかかわらず、毎月20%から30%ダウンと、苦戦を強いられているが、町長として、どのように考えているか伺う。

答弁 町長 本町の特産物販売施設については、旧町ごとに各1カ所設置され、運営されてきたが、本年2月にだんだん市場がオープンして以降、川床ふれあいの郷が、出

店者の減少により、7月から休館をしている。しかし、再指定に向け話し合いを進めているところである。また、道の駅長島についても、生産者がだれでも出荷でき、多くの特産物が陳列できる販売スペースの拡張、特に食堂部門の拡充、朝市等の計画など、特徴ある施設を目指し、集客の増加を図る。

質問 道の駅長島で、足を止めていただけるような工夫が必要であると思う。長島は観光的にも、素晴らしい景観が



道の駅長島

多く、人気のある島だと思っている。道の駅長島も、夕日も見られる素晴らしい休憩場所の1つでもあり、東シナ海に沈む日本一の夕日を見ながら、足湯につかり、ゆっくりくつろいだ後、お買い物をしていただく。私はこの足湯是非必要であると思うが、町長の考えを伺う。

答弁 町長 足湯の問題が出ましたけれども、指江の温泉については、泉源の湯量が少ないというふうなことを聞いているので、さらに深く、今の施設を掘り下げることにおいても、もっと湯量ができるかどうか、研究してみる必要があると思っています。それには新しい財源の問題もある。

福祉の充実した町づくりの推進について

答弁 町長 4年前に、東長島2町合併がスタートし、小さくてもきらりと光る、住民一人ひとりを大切に。その拠点福祉事務所であり、住民の幸せ感を持てる、

きめ細やかな対応を図っていく。

質問 介護保険制度が、平成12年度に始まって、今年で10年目になる。本町も急速に高齢化が進み、65歳以上の介護認定者数も、528名になっている。現在、介護認定まで1カ月かかっていると思うが、認定までの日数を、少しでも早く改善できないのか伺う。

答弁 町長 介護保険法の規定では、申請から認定の通知まで、30日以内に出すようになってきている。認定までの時間がかかる遅延理由について、主治医意見書の入手、訪問調査など、申請多数で審査依頼に時間を要したなどが、今の状況であるが町としては緊急な場合の対応策として、申請に基づき、本人と家族から聞き取り、調査を行って、町の1次判定の措置で緊急に対応している。

一般質問

常任委員会の審査報告

総務民生常任委員会

委員長 儀永秀生

▼総務課関係

問 鹿児島県交通安全「母の会」連合会へ負担金を計上してあるが長島町にも「母の会」はあるのか。

答 長島町には無いが、県内全市町村などで構成していることから負担金が必要である。

問 新たな難視地区がたくさんあるが、デジタル対応が間に合うのか。

答 九州総合通信局の対応としては、鹿児島県はあまりにも新たな難視地区が多く、2500地区あるが、実際には倍近くなる。また、来年度の7月24日まで、に改修が間に合わず、

受信点調査も追いつかない状態である。

今度は、第3次要望まで受付で、その後はSN（衛星受信設備）で視聴を考えているとのことである。衛星放送では、東京のキー局の放送になる予定であるとの答弁であった。

問 獅子島フェリー運賃補助券を購入した人が獅子島島民以外の人

が利用しているという噂を聞くがどのように

監視するのか。

答 この券は獅子島島民しか利用できないように要綱で定めてある。また、利用の確認は販売所と船長がするようになっており、会社にも指導している。もしそのような噂が事実であれば、来年度以降のフェリー運賃補助の実施が難しくなる。

問 予防接種事業費に

関係

ついて、接種方法はどのように変わるのか。また、個人負担について非課税世帯は国・県補助があるが課税世帯は。

答 接種方法については、季節性・新型インフルエンザの混合ワクチンとなり、13歳未満については2回接種となるが、その他の人は1回接種となる。また、補助金について、国・県補助のない課税世帯については、その分を町で補助することになる。

問 接種料金の全額補助の自治体はないのか。また、全額補助する考えはないか。

答 補助については出水地区で統一している。全額補助は困難である。

されることになるが本町の母子、父子世帯数と受給額は。

で全額支給の場合1人4万1720円、2人目が5000円加算、3人目から3000円の加算となる。

建設経済文教常任委員会

委員長 児島薩男

▼学校教育課関係

問 長島の子表彰について、全児童1人原則1回表彰するとあるが特に、顕著な成績のあった者は小学校で複数回の表彰もあるのか。

答 小学校においては複数回の表彰はない。中学校においては再度表彰することが出来る。

問 旧東町では、子ほめ条例として実施していたようだが、どれくらい続けられたか。

答 昭和63年から平成16年まで実施していた。

民は被候補者を教育委員会に推薦するとあるが、地域住民は公民館長に限らず個人として誰でも推薦できるか。

答 地域住民の周知の段階で、子供たちの良さを見つけてその旨を校区の学校または、教育委員会へ連絡してもらえよう願う予定。

問 単独浄化槽撤去補助の内容について。

答 国が3万円、県が3万円を補助するもので、国は本年度から施行されている。本町も来年度から補助出来る



片側港と諸浦港を結ぶフェリー「ロザリオ」

ようにしていきたい。
問 土地購入の場所はどこか。

答 北方崎配水池までの侵入道路敷地用地。

▼農林課関係

問 畑作加工センターの修繕について、前回も修繕費の補正があったが、同施設の積立金の残額はいくらか。

答 基金の残額は今回でなくなった。使用料をなくしたことで修繕費等の限度額をどうするか、金額を絞るのは難しい。施設整備は町ですべきものと考えている。協定書に記載しているが、町ですべきもの、サメシマフーズですべきものを整理する必要はある。

問 100万円以下は管理者負担とする取り決めはないのか、また東産業開発は起債が終わってからの無料になった。修理・修繕について

では補助事業で対応できるものは町で、それ以外の修理は東産業開発でやっていく。負担の線引きをしないと何もかも町で修理することになるので、はつきり示した方が良いと思うが。

答 修繕等について100万円以上は町でする。

問 川床ふれあいの郷は、今年3月指定管理者に指定されている。しかし、3ヶ月で休業になった。条例等においてペナルティの規定がないか。

答 条例の中には、ペナルティの規定はないので協定書の中で整備していきたい。

▼耕地課関係

問 農道維持管理補修費の1500万円は、豪雨による維持補修費か。既存の予算との関係は。

答 集落からの要望及び豪雨災害に伴う補助対象にならない小災害の復旧工事費に充てる。

問 客土・深耕造成の補助金に人があつて本年度申し込みを翌年度回しとのことだが、客土の補助は今年度からで、農家所得に直接つながることなので、予算の確保は。

答 要望が多く9月補正で予算を確保した。予算については、12月補正でも出来ないか、企画財政課と協議したい。

▼建設課関係

問 道路維持補修費で黒之瀬戸大橋付近の工事内容は。

答 口蹄疫の石灰除去のためアスファルト表層の5cmを剥ぎ取りその上層をやり替える。右車線延長97m、左車線延長62m・舗装面積

510㎡を工事の予定。
問 町営住宅等の家賃滞納状況と昨年改修したケビンについて。

答 今回ケビンは町営住宅として改修したので町営住宅として管理することになった。滞納者は3名いる。

▼教育総務課関係

問 今回改修計画している鷹巣給食センターを準ドライ方式にするとのことだが指江給食センターにはドライ方式の機器が入っているが、この機器を利用する計画はないか。

答 現段階では、詳細につめていないので、実施設計が出来た段階で機器の利用は検討したい。

問 学校統合に関して具体的な統廃合が決定していない中、給食センターのみ先行する事は、父兄及び町民に

対し説明も必要と思うが、どうか。
答 必要経費が現在二重になっている。施設を集約することで経費の節約になる。2施設で年間8900万円程度の支出になっている。1施設に集約することで約3000万円のコスト削減の試算をしている。また父兄等へ周知は町広報等していきたい。

たとの報告を聞いていた。今回の赤潮に関しては、球磨川水系からと言う報告もあった。今後どのような形で赤潮防止につなげたらよいか分からないところである。

▼水産商工課関係

問 赤潮の要因は分からないが栄養塩・生活排水も影響があると思うので一つ一つ改善していくことで海水がきれいになるのではないかと考える。長島町で情報発信源として、八代・有明海の浄化の考えは。

答 瀬戸内海でも赤潮が発生した時期に、栄養塩の総量規制を実施し、赤潮が少なくなっ

▼景観推進課関係
問 長崎鼻灯台公園のトイレ設備はどのようなものか。
答 新設トイレであり、男子用・女子用・身障者用を含めた施設である。海が近くであり簡易水洗型トイレで汲み取り式となる。簡易水洗の方が年間維持費がかからない。



長崎鼻灯台公園を現地調査

行政研修・陳情報告

副議長 小川武男

平成22年度の視察研修及び農林水産省県選出の国会議員への陳情を去る8月24日から3日間、13名の議員が参加実施した。

陳情

2年続けて発生した赤潮は、養殖海域の全域・全経営体に甚大な被害を及ぼした。

1日も早い復興を願ひ、赤潮被害関係、基盤整備関係について、県選出の国会議員11名の事務所を訪ねての陳情、その後、地元選出衆議院議員の案内を頂き、農林水産副大臣をはじめ、各担当部局等へ11件の陳情を行った。陳情は次の内容である。

- ① 甚大なる被害を及ぼす赤潮被害関係
- ② 赤潮による漁業損出の直接補てんについ



農林水産副大臣に赤潮被害救済などを陳情

- ③ 漁業災害補償制度（養殖共済）の見直しについて
- ④ 赤潮被害養殖漁業者の早期経営再建への支援措置について
- ⑤ 漁業緊急保証対策事業の弾力的対応と制度の延長について
- ⑥ 赤潮の被害を回避するための養殖漁場の整備等について
- ⑦ 赤潮被害対策の技術の確立について
- ⑧ 特別交付税の重点配分について
- 基盤整備関係
- ① 獅子島架橋建設につ

いて

- ② 農業農村整備事業（中山間地域総合整備事業長島西部地区）新規採択について

- ③ 社会基本整備総合交付金事業（地方道路整備事業）の継続について

- * 平尾浜漣線・萩之牟礼線・鷹巣杉ノ段線・行人岳線・汐見山門野線の5路線

以上の11件については県選出の国会議員へ、特に赤潮被害については農林水産副大臣、水産庁長官、漁政部長のほか担当局、担当課へ詳細な資料を提出し被害状況の説明を行い、養殖漁業者の自助努力では被害の回復、経営の再建が困難であるので国の支援を陳情してきた。

獅子島架橋実現は、住人の日常生活の利便性向上、産業・経済・

文化は著しく発展し飛躍することができると。また、県において獅子島は唯一「半島化」が可能な有人離島であり、架橋の早期実現に特段のご配慮、ご支援をお願いした。

* 臨時国会に赤潮被害対策特別措置法案が提案される予定。

行政視察

小学校の統廃合により廃校となった施設の有効活用について、千葉県和田町の小学校跡地の視察研修を行った。

その他研修

この施設は児童数の減少により、町内4小学校が統廃合され、閉校跡地を住民の総意で検討委員会を立ち上げ、跡地活用を行政と協議し造られた施設である。

宿泊施設を有し、農業体験・自然散策・合宿等に利用されている。また、昼食や弁当を願ひ研修を終えた。

今回の研修を今後の議員活動に活かし、町づくり貢献することを願ひ研修を終えた。

議会のうごき

9日	6日	5日	4日	8月 29日 30日	28日	23日	21日		15日	14日	13日 14日	9日	6日	5日	2日	1日	7月	28日	25日	24日	23日	18日	6月	
天長フェリー株主総会	市町村政研修会	カヌー長島海峡横断大会	町村議長会理事会	北薩横断道路(泊野道路)整備促進要望活動	南九州西回り自動車道整備促進に関する要望活動	戦没者追悼式 常任委員長研修会	阿久根地区消防組合例月出納検査	北薩広域行政事務組合全員協議会	例月出納検査	農業委員会総会	あづま海水浴場海開き安全祈願	出水地区開発促進協議会総会・県際交流協議会総会	新幹線「つばめ・さくら」の出水駅停車要望陳情	監査委員補助職員研修会	赤潮被害調査	平成22年度第3回臨時議会	天長フェリー監査	北薩空港幹線道路整備促進期成会総会 議会だより編集委員会	健康づくり計画策定委員会	東町漁業協同組合第62回通常総会・創立60周年記念式典	例月出納検査	阿久根地区消防組合例月出納検査	農業委員会総会	

21日	10日 21日	7日	2日 3日	1日	9月	24日 26日	24日	23日	20日	19日	17日	12日	11日
東町漁協、北さつま漁協へ赤潮被害義援金を贈呈	第3回長島町議会定例会	議会議事委員会	議会議事委員会	議会議事委員会	桃源郷開園20周年記念式典 議会広報研修会 議会議事委員会	議長視察および赤潮被害対策等陳情活動	長島港赤崎地区港湾整備事業竣工式	北薩広域行政事務組合全員協議会	阿久根地区消防組合例月出納検査	東町漁業協同組合の日・魚類供養感謝祭	新幹線「つばめ・さくら」の出水駅停車要望陳情	平成22年度第4回臨時議会	農業委員会総会



JRへ九州新幹線出水駅停車増便などを陳情



東町漁協へ赤潮被害義援金を贈る



北さつま漁協へ赤潮被害義援金を贈る

ま ち の 話 題



3年ぶりに海峡制覇

8月5日、第25回カヌー長島海峡横断大会が開催された。

荒天により2年連続で横断を断念していたこの大会。今年は天候に恵まれ、総勢61人が約8kmの長島海峡にカヌーで挑んだ。

無病息災願い 勇壮に舞う

恒例の御八日踊りが8月8日、町内全域で繰り広げられた。

この日のために練習を重ねてきた踊り手たちは、無病息災を願いながら鉦や太鼓の音を響かせ、勇壮な舞を披露していた。



20年間地域に密着した福祉提供

地域に密着した福祉サービスを提供しようと平成2年9月に創設された『特別養護老人ホーム桃源郷』が創立20周年を迎え、9月1日に記念式典があった。

式典では、功労者や関係団体等に感謝状、表彰状が贈られ、これまでの功績をたたえた。

編集後記

長島町両町合併して5年目を迎えた。旧両町の歴史と伝統を残しながら、一体感を醸成しつつある。

来年3月には九州新幹線鹿児島ルートの開業に伴い産業、経済、観光面において期待されている。しかしながら、現在の社会情勢は長引く景気低迷等により国、地方を通じて厳しい財政状況は今後も予想される。

高齢化に伴う社会保障費の増大もあり地方の財政確立は厳しくなると思われる。高齢者の介護を社会全体で支えるという介護保険制度がスタートしてから10年が経った。少子高齢化に見合った福祉対策、特に老人福祉が求められている。

核家族化が進み老人夫婦や独居老人世帯が増加している中で高齢者が安心して暮らせる住みよい環境づくりを進めるには、被保険者をはじめ福祉サービスを必要とする人と、これを支える若い人たちが老後は安心と思える町づくりが今後の課題ではないだろうか。(植元)

【編集責任者】 濱上 實 則
 【編集委員長】 池田 廣 廣
 【委員】 植元 敏 光
 下塩見 浩 光

原口 秀 昭
 福永 伸 親